

チャプター  
4

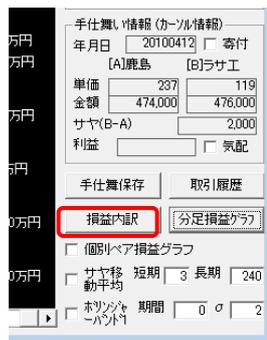
## 4. 仕掛けの手順

サヤチャートを順番に確認して、仕掛けルールに従い仕掛けを実行します。

### 1. 仕掛けペアの選定

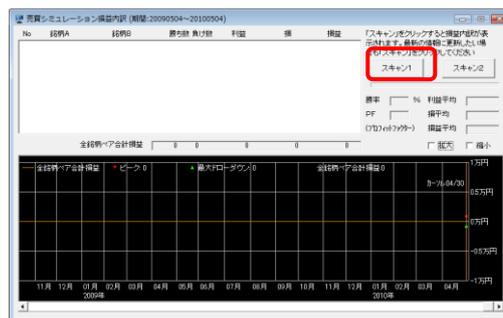
ペア編集機能を使えば、効率よく仕掛けペアを探ることができます。  
ここでは、過去最大のサヤかい離になったペアから仕掛けペアを探します。  
手順は以下の通りです。

#### 1. 「損益内訳」ボタンをクリックしてください。

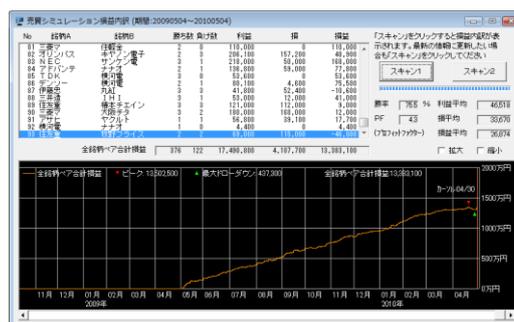


※売買シミュレーションにチェックが入っていないと操作できませんのでご注意ください。

#### 2. 「売買シミュレーション損益内訳」画面が表示されますので「スキャン 1」をクリックしてください。



#### 3. 「スキャン 1」が終了すると、最新のデータに更新されます。



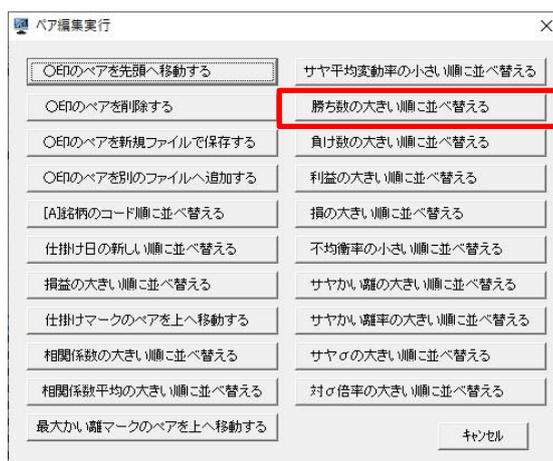
4. ペアリストのペア編集「実行」をクリックしてください。



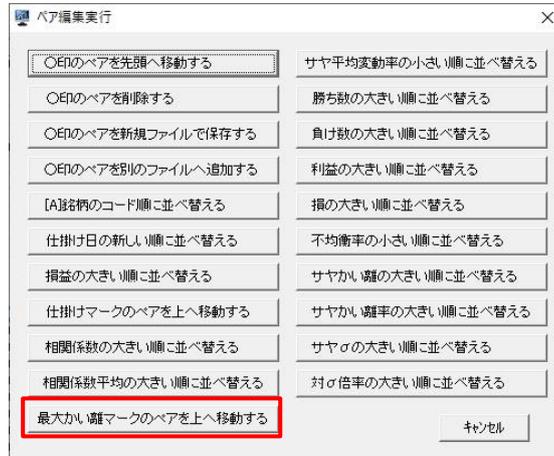
5. ペア編集実行画面から「相関係数の大きい順に並べ替える」をクリックして「OK」を押してください。



6. ペア編集実行画面から「勝ち数の大きい順に並べ替える」をクリックして「OK」を押してください。



7. ペア編集実行画面から「最大サヤかい離マークのペアを上へ移動する」をクリックして「OK」を押してください。



8. ペアリストの上段に最大サヤかい離マークの付いたペアが移動しますので、サヤチャートを確認して、仕掛けルールに従いペアを選定してください。

※ペア編集の「選択」をクリックするとペアリストの選択項目に○印が表示されますので仕掛け候補等の目印にご利用ください。

#### ワンポイント(仕掛けルール 1)

できるだけ相関係数が高く、売買シミュレーションの成績(勝数)が良いペアを選んでください。

相関係数は、2銘柄の類似性の度合いを示します。0.8以上で1に近いほど株価の連動性が高いと言えます。

勝ち数の多いペアは、サヤの開閉が頻繁にあり短期で利益を取りやすい傾向にあります。最低でも7勝以上のペアを推奨いたします。

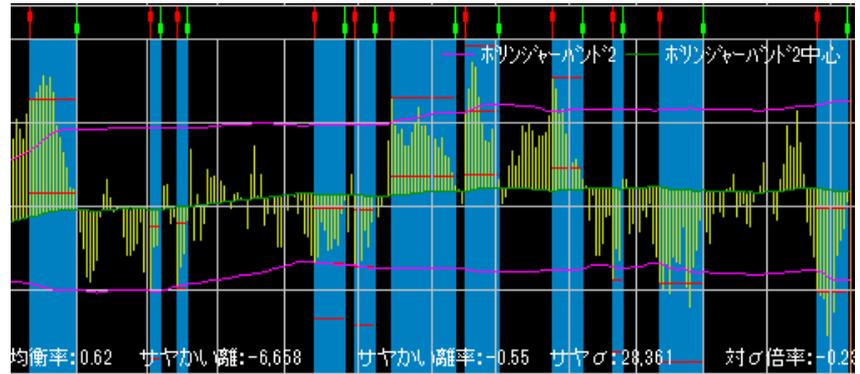
#### ワンポイント(仕掛けルール 2)

サヤが短期で開閉している動きの良いペアを選んでください。サヤ取りで一番重要なのは、サヤに一定のリズムがあることです。サヤチャートの綺麗なペアを優先してください。

サヤの形も重要です。

- ・サヤの山と谷がなるべく規則的に複数存在すること。(サヤの開閉が頻繁にあり周期がある)
- ・サヤの山と谷がなるべく揃っていること。(サヤの不規則な変動が少ない)
- ・サヤが平均線を中心に上下変動を繰り返していること。
- ・サヤが膠着していないこと。
- ・サヤの平均線、ボリンジャーバンドが一定していること。

※下記は仕掛け条件を満たしたペアの一例です



### ワンポイント(仕掛けルール 3)

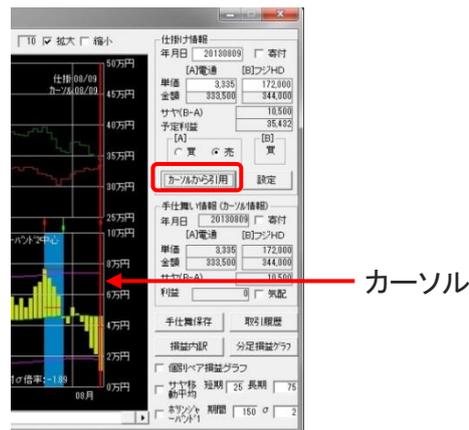
サヤチャートからサヤの動き(開閉周期と変動幅)を読み取り、仕掛けのタイミングを計ってください。

サヤ $\sigma$ を考慮した最大のかい離(金額)で仕掛ける。

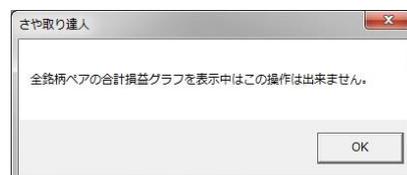
※資金量・戦略・方針・性格等を考慮して、自己の仕掛けルールを確立してください。

## 2. 仕掛け情報を確認する

ペアグラフのカーソルを仕掛け日(当日)に合わせ「カーソルからの引用」をクリックすると、そのペアの仕掛け情報(年月日・単価・金額・サヤ・予定利益・売買区別)が自動的に表示されます。



※この時、売買シミュレーション損益内訳画面が表示されていると、下記のメッセージが表示されますので、一旦画面を閉じてください。



※予定利益がマイナスで表示されていたら「A」、「B」銘柄の売り、買いが逆になっていますので「A」の[買]、[売]を反転させてください。

山でサヤが開いている場合は、「A」銘柄が買い、「B」銘柄が売りです。  
谷でサヤが開いている場合は、「A」銘柄が売り、「B」銘柄が買いです。

**[ご注意]**

※スクロールバーの位置にご注意ください。最新の日付(当日)を表示する場合はノブが右端にあるのを確認してください。



### 3. 仕掛け注文

仕掛け情報を参考に証券会社に注文を入れます。

売りは「信用新規売り」で注文を出してください。

買いは「信用新規買い」または「現物買い」どちらでもかまいません。

注文は必ず「成行」で同時に注文してください。

期間は当日中、預り区分は特定預り、制度信用(6ヶ月)になります。

売りと買いを間違えないようにしてください。(必ずカーソルからの引用をクリックして確認してください)

[一口メモ]

《空売り規制》

銘柄には、信用売りが可能な銘柄とそうでない銘柄があります。信用売りができない銘柄が売り銘柄として表示された場合は、実際には取引できませんのでご注意願います。

信用売りできるかどうかは、証券会社のホームページでご確認願います。取引時間中は、念のため信用売りから先に注文を入れるようにしてください。

《信用建余力について》

信用建余力(買付余力)が十分あるのに注文ができないことがあります。これは、成行注文の場合、値幅制限の上限を考慮するからです。資金に余裕を持って仕掛けてください。

《逆日歩について》

株を売る人が増え貸借倍率が、1倍を割り込むと市場で株が不足し、調達のために売り銘柄に対し、追加で逆日歩(ぎゃくひぶ)という手数料がかかる場合があります。情報は、証券会社の取引画面などで確認ができます。

また、逆日歩の負担や返済期限の為、買戻しが発生すると株価が上がる場合(踏み上げ)がありますので注意が必要です。

#### 4. 仕掛け情報の保存

仕掛け情報を保存するには、「カーソルからの引用」→「設定」をクリックしてください。ペアリストに仕掛け日が記録されます。また、「取引履歴」にも保存されます。

翌日の寄り付きで注文する場合は、翌日サヤチャートが更新されてから仕掛け日を設定してください。

※仕掛け情報を削除したい場合は「仕掛け情報」の「年月日」に0(または空欄)を入力して「設定」をクリックしてください。

#### 5. 仕掛け後の単価修正

注文単価と約定単価が違う場合は「単価 A」または「単価 B」に実際の約定単価を手動で入力して「設定」をクリックしてください。

寄り付きで仕掛けた場合は、仕掛け情報の「寄付」にチェックを入れ「カーソルからの引用」→「設定」をクリックすれば単価が自動的に入ります。終了したらチェックを外してください。

#### 6. 銘柄ペアファイルを上書き保存する

取引を更新したら、銘柄ペアファイルを上書き保存してください。メニューの「ファイル」の「銘柄ペアファイルを上書き保存」をクリックしてください。



## 《アドバイス》

仕掛けチャンスは沢山ありますので、余裕資金を持ち、エントリーのタイミングをじっくり待って、焦らず取り組んでください。

仕掛けが早く、損切できないと負けパターンになります。  
「仕掛けは少し遅めに、手仕舞いは少し早めに」

毎日サヤチャートをチェックして、トレードセンス(感覚)を磨いて下さい。

「投資の掟を守る」ことが非常に重要です。

- ① 売買ルールを守る  
自分に合った売買ルールを決め、一貫して守る。
- ② メンタルコントロールをする  
感情(欲・恐怖・退屈等)はトレードの最大の敵です。平常心を保つ。
- ③ 資金管理をする  
分散投資(銘柄・資金・時間)に心がける。利小損大にならないように。

◎チュートリアル

4.仕掛けの手順

<http://youtu.be/m5Z9fzD9wZA>